建設通信新聞
平成30年3月26日（月曜日）

年度内に具体内容

足立議員 4車線化の推進指摘

財投活用の高速道路整備

質問する足立議員

国土交通省は、財政投融資を活用した高速道路整備について、NEXCOなど高速道路会社と日本高速道路保有・債務返済機構の協定に基づく申請を受けて、2017年度内に具体的内容を決定することを明らかにした。23日に開かれた参院・国土交通委員会で足立敏之参院議員の質問に対して石川雄一道路局長が回答した。

足立議員は、日本とドイツや英国、米国、韓国などの高速道路の車線数を比較し、「ここ20年の公共投資の落ち込みにより日本のインフラ整備の水準は一流の水準でなくなっている。（路線）延長の整備を進めるだけでなく、あわせて4車線化を進めるべきだ」と指摘した。

大都市圏の環状道路の整備加速に向けて、1兆5000億円の財政投融資が18年度の財政投融資計画に盛り込まれている。▽一般国道468号首都圏中央連絡自動車道▽一般国道475号東海環状自動車道▽一般国道497号西九州自動車道▽一般国道10号隼人道路――の整備や橋梁の耐震化に活用する。